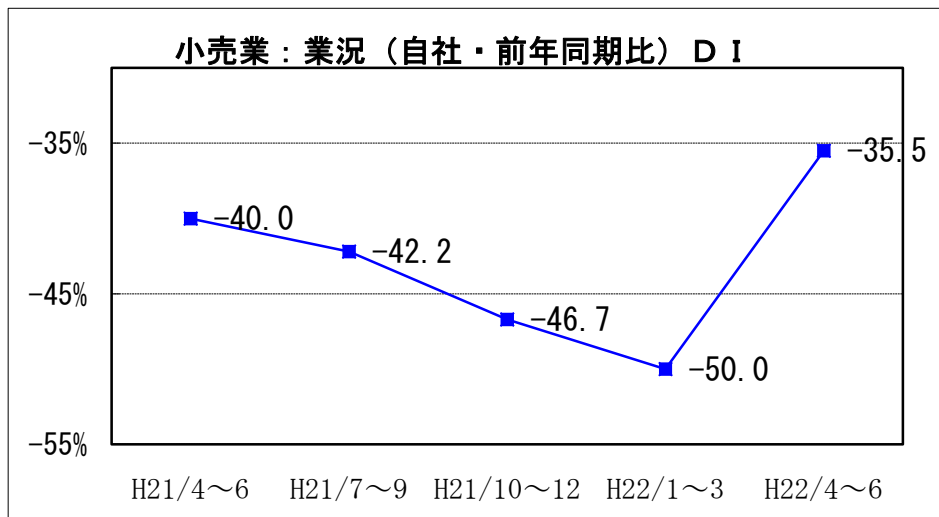


## 4. 小売業の動向

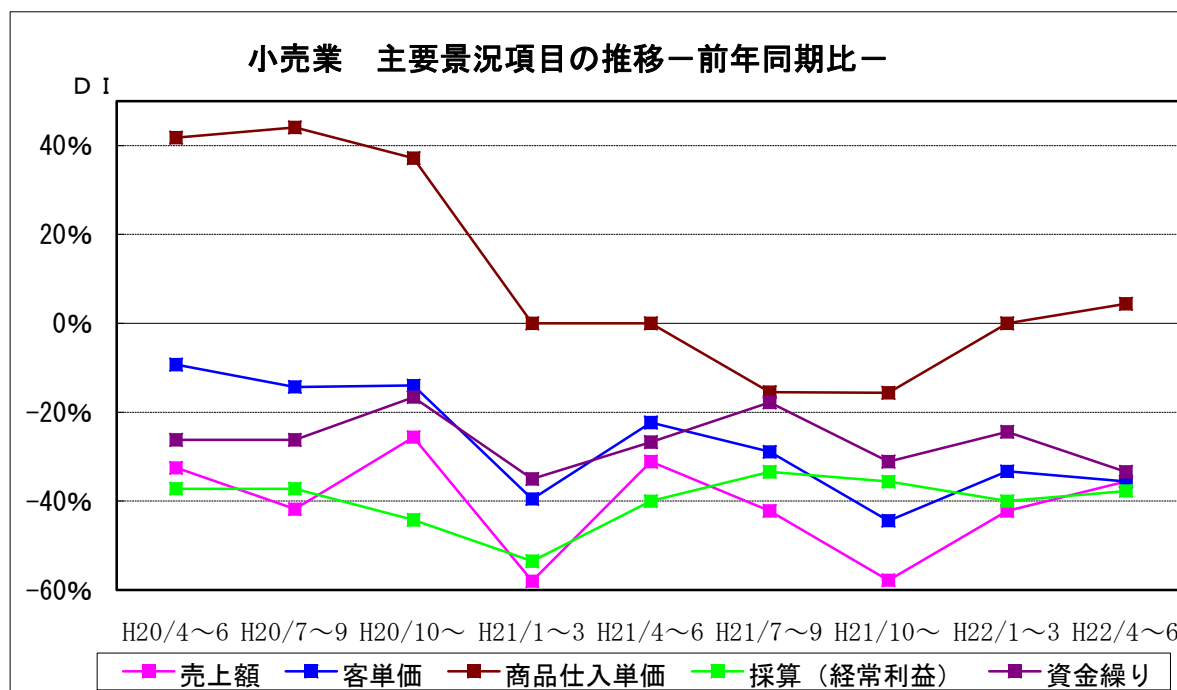
### (1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、マイナス35.5。前期のマイナス50.0から14.5ポイント上昇、大幅な回復。来期見通しは、マイナス31.1と小幅な回復の見込み。



小売業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

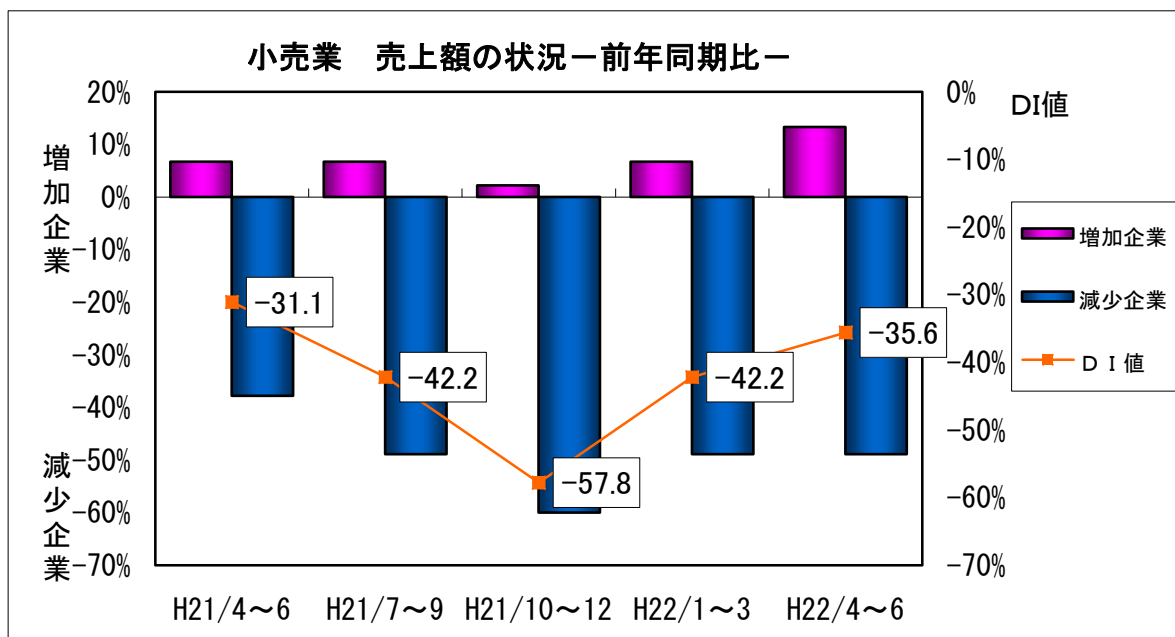
	前々期 (21年10月~12月)	前期(A) (22年1月~3月)	今期(B) (22年4月~6月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
売上額	▲57.8	▲42.2	▲35.6	6.6	▲28.9
客単価	▲44.4	▲33.3	▲35.6	▲2.3	▲31.1
商品仕入単価	▲15.6	0.0	4.4	4.4	▲2.2
採算（経常利益）	▲35.6	▲40.0	▲37.7	2.3	▲35.5
資金繰り	▲31.1	▲24.4	▲33.4	▲9.0	▲31.2



(2) 主要項目の概況 (前年同期比)

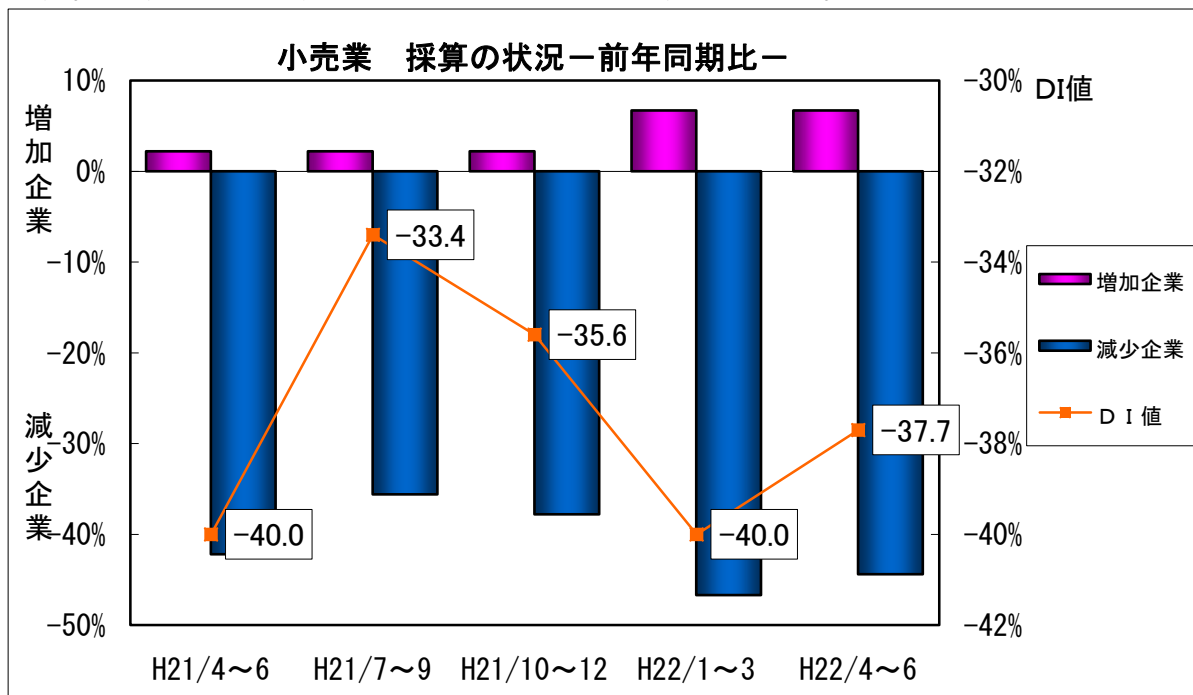
①売上額 (前年同期比)

今期の売上額D I 値は、マイナス 35.6。前期のマイナス 42.2 から 6.6 ポイント上昇、回復。来期見通しは、マイナス 28.9 さらに回復する見込み。



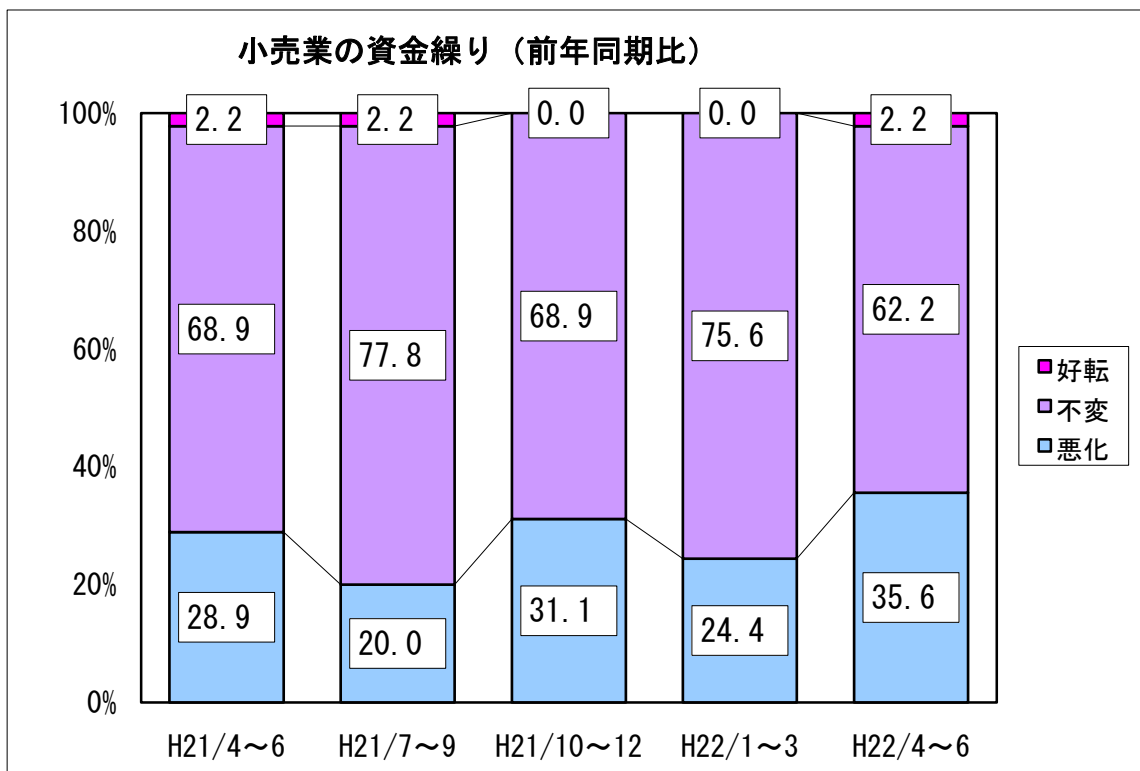
②採算 (前年同期比)

今期の採算D I 値は、マイナス 37.7。前期のマイナス 40.0 から 2.3 ポイント上昇、やや回復。来期見通しは、マイナス 35.5 とやや回復の見込み。



### ③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I 値は、マイナス 33.4。前期のマイナス 24.4 から 9.0 ポイント下降、悪化。来期見通しはマイナス 31.2 とやや回復の見込み。

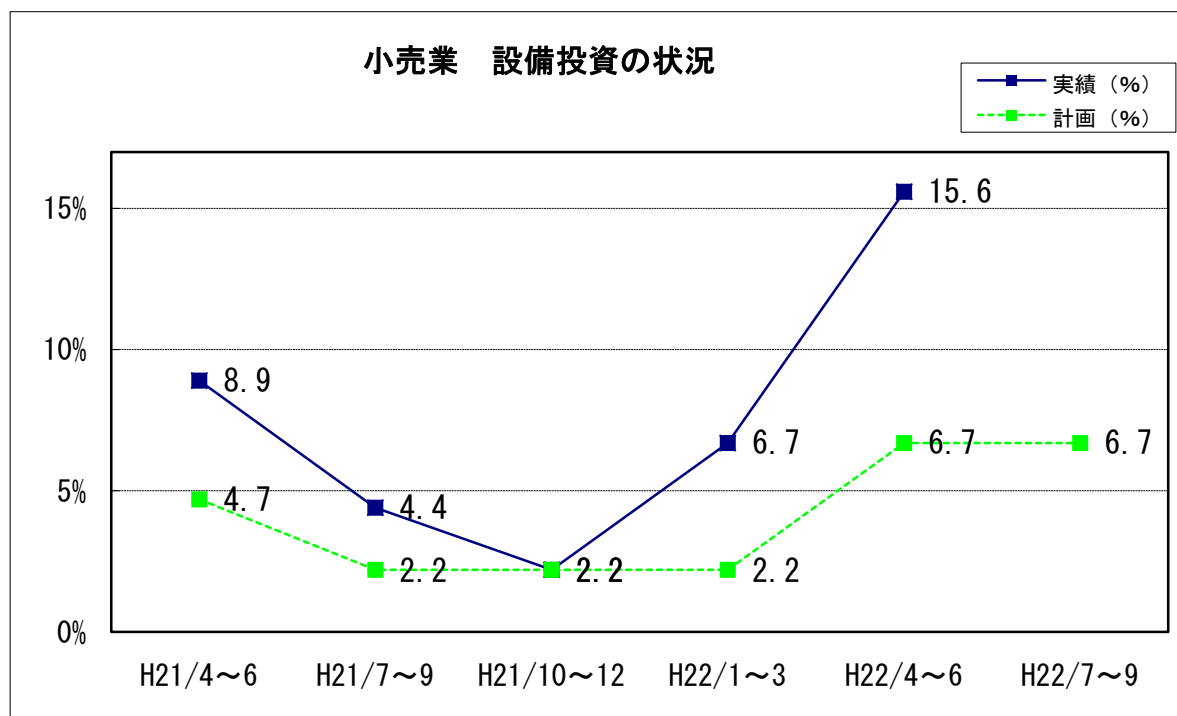


#### ④設備投資

##### 新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土 地	店 舗	販売設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	3	0	0	2	0	0	0	0	1	42
(%)	6.7	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	93.3
今期実施 (実数)	7	0	1	1	2	2	1	0	1	38
(%)	15.6	0.0	14.3	14.3	28.6	28.6	14.3	0.0	14.3	84.4
来期計画 (実数)	3	0	0	0	2	1	1	0	0	42
(%)	6.7	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	93.3

今期設備投資を実施した企業は7社(15.6%)。前期(平成22年1~3月期)の実施企業3社(6.7%)から4社増加。来期も3社(6.7%)が、車両・運搬具、付帯施設、OA機器への設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、小売業が経営上の問題点として一位から三位にあげる項目は、

- ・ 「需要の停滞」 (前期 55.6%→今期 56.1%)
- ・ 「購買力の他地域への流出」 (前期 60.0%→今期 53.7%)
- ・ 「販売単価の低下、上昇難」 (前期 28.9%→今期 31.7%)
- ・ 「消費者ニーズの変化」 (前期 37.8%→今期 26.8%)
- ・ 「大型店・中型店の進出による競争の激化」 (前期 22.2%→今期 26.8%)

となっている。

